

# TIST

Tsukuba Institute of Science & Technology

令和8年度 1学年 前期シラバス

建築士専攻科

筑波研究学園専門学校

## 学科別教科目（1学年 前期）

### ◆建築士専攻科

	教科名	授業科目名
1	建築計画	建築計画Ⅰ
2	建築計画	建築計画Ⅱ
3	建築法規	建築法規Ⅰ
4	建築法規	建築法規Ⅱ
5	建築構造	構造力学Ⅰ
6	建築構造	構造力学Ⅱ
7	建築構造	一般構造Ⅰ
8	建築構造	一般構造Ⅱ
9	建築施工	建築施工Ⅰ
10	建築施工	建築施工Ⅱ
11	建築設計製図	設計製図演習

【授業科目名】	建築計画 I (授業形態: 講義)																																		
【教科目名】	建築計画	【単位数】	3 単位																																
【所属学科名】	建築士専攻科	【コース名】																																	
【学習時期】	前 期																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	7 5 H																																
【授業担当者】	鈴木 裕子 [実務経験: 建築設計事務所にて建築物の設計]																																		
【学 習 目 標】	建築計画について基礎から応用まで幅広く学び、二級建築士学科試験の学科1「計画」で合格点取得を目指す。																																		
【授 業 計 画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>気候・サウンディング</td></tr> <tr><td>2</td><td>伝熱結露</td></tr> <tr><td>3</td><td>日照・日射・採光</td></tr> <tr><td>4</td><td>音響</td></tr> <tr><td>5</td><td>色彩、環境工学融合</td></tr> <tr><td>6</td><td>空気調和設備</td></tr> <tr><td>7</td><td>給水設備</td></tr> <tr><td>8</td><td>排水・衛生設備・中間試験</td></tr> <tr><td>9</td><td>電気・照明設備</td></tr> <tr><td>10</td><td>消火防災設備、建築史</td></tr> <tr><td>11</td><td>計画一般</td></tr> <tr><td>12</td><td>住宅</td></tr> <tr><td>13</td><td>商業建築</td></tr> <tr><td>14</td><td>公共建築</td></tr> <tr><td>15</td><td>地域計画、各論融合</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業内容	1	気候・サウンディング	2	伝熱結露	3	日照・日射・採光	4	音響	5	色彩、環境工学融合	6	空気調和設備	7	給水設備	8	排水・衛生設備・中間試験	9	電気・照明設備	10	消火防災設備、建築史	11	計画一般	12	住宅	13	商業建築	14	公共建築	15	地域計画、各論融合
回数	授業内容																																		
1	気候・サウンディング																																		
2	伝熱結露																																		
3	日照・日射・採光																																		
4	音響																																		
5	色彩、環境工学融合																																		
6	空気調和設備																																		
7	給水設備																																		
8	排水・衛生設備・中間試験																																		
9	電気・照明設備																																		
10	消火防災設備、建築史																																		
11	計画一般																																		
12	住宅																																		
13	商業建築																																		
14	公共建築																																		
15	地域計画、各論融合																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。中間・期末試験は全国模擬試験（日建学院）を利用します。																																		
【教 科 書】	学科 I テキスト・問題集（建築資料研究社・日建学院）																																		
【参 考 資 料】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「図説 やさしい建築計画」（学芸出版社）</li> <li>・初めての建築計画〈住宅・集合住宅・事務所・幼稚園・図書館〉（学芸出版社）</li> <li>・図説 建築の歴史 西洋・日本・近代（学芸出版社）</li> </ul>																																		
【留 意 事 項】	高得点を取るためには、過去問を何度も繰り返し解くことが重要です。解答の解説もしっかりと読んで周辺知識も習得し、新規問題への対策にも繋げていくようにして下さい。例年 25 問出題され、合格点は 13 点以上とされています。																																		

【授業科目名】	建築計画Ⅱ(授業形態:講義)																																		
【教科目名】	建築計画	【単位数】	1単位																																
【所属学科名】	建築士専攻科	【コース名】																																	
【学習時期】	前期																																		
【年次】	1年次	【授業時間数】	30H																																
【授業担当者】	鈴木 裕子 [実務経験:建築設計事務所にて建築物の設計]																																		
【学習目標】	建築計画Ⅰで学習した内容を、過去問を繰り返し解くことで確実なものとし、本試験において20点以上の取得を目指す。																																		
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>気候・オリエンテーション</td></tr> <tr><td>2</td><td>伝熱結露</td></tr> <tr><td>3</td><td>日照・日射・採光</td></tr> <tr><td>4</td><td>音響</td></tr> <tr><td>5</td><td>色彩、環境工学融合</td></tr> <tr><td>6</td><td>空気調和設備</td></tr> <tr><td>7</td><td>給水設備</td></tr> <tr><td>8</td><td>排水・衛生設備・中間試験</td></tr> <tr><td>9</td><td>電気・照明設備</td></tr> <tr><td>10</td><td>消火防災設備、建築史</td></tr> <tr><td>11</td><td>計画一般</td></tr> <tr><td>12</td><td>住宅</td></tr> <tr><td>13</td><td>商業建築</td></tr> <tr><td>14</td><td>公共建築</td></tr> <tr><td>15</td><td>地域計画、各論融合</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業内容	1	気候・オリエンテーション	2	伝熱結露	3	日照・日射・採光	4	音響	5	色彩、環境工学融合	6	空気調和設備	7	給水設備	8	排水・衛生設備・中間試験	9	電気・照明設備	10	消火防災設備、建築史	11	計画一般	12	住宅	13	商業建築	14	公共建築	15	地域計画、各論融合
回数	授業内容																																		
1	気候・オリエンテーション																																		
2	伝熱結露																																		
3	日照・日射・採光																																		
4	音響																																		
5	色彩、環境工学融合																																		
6	空気調和設備																																		
7	給水設備																																		
8	排水・衛生設備・中間試験																																		
9	電気・照明設備																																		
10	消火防災設備、建築史																																		
11	計画一般																																		
12	住宅																																		
13	商業建築																																		
14	公共建築																																		
15	地域計画、各論融合																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。中間・期末試験は全国模擬試験(日建学院)を利用します。																																		
【教科書】	学科Ⅰテキスト・問題集(建築資料研究社・日建学院)																																		
【参考資料】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「図説 やさしい建築計画」(学芸出版社)</li> <li>・初めての建築計画&lt;住宅・集合住宅・事務所・幼稚園・図書館&gt;(学芸出版社)</li> <li>・図説 建築の歴史 西洋・日本・近代(学芸出版社)</li> </ul>																																		
【留意事項】	高得点を取るためには、過去問を何度も繰り返し解くことが重要です。解答の解説もしっかりと読んで周辺知識も習得し、新規問題への対策にも繋げていくようにして下さい。例年25問出題され、合格点は13点以上とされています。																																		

【授業科目名】	建築法規 I (授業形態: 講義)																																		
【教科目名】	建築法規	【単位数】	3 単位																																
【所属学科名】	建築士専攻科	【コース名】																																	
【学習時期】	前 期																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	7 5 H																																
【授業担当者】	野口 成美 [実務経験: 建築設計事務所にて建築物の設計]																																		
【学 習 目 標】	建築法規について基礎から応用まで幅広く学び、二級建築士学科試験の学科Ⅱ「法規」で合格点取得を目指す。																																		
【授 業 計 画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>【総則】用語の定義・リエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>面積・高さ等の算定方法、手続き</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>【一般構造等】一般構造・建築設備</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>【構造強度】構造関係規定の構成・構造方法・構造計算</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>【防火関係】耐火構造等・法22条区域内の建築物</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>耐火建築物・防火地域・準防火地域 等</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>内装制限・避難施設</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>【都市計画区域等の制限】道路・壁面線、用途地域・中間試験</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>容積率・建蔽率・敷地面積等の制限</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>高さの制限、地区・街区等</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>【雑則等】雑則、建築協定・建築審査会・罰則</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>【その他の関係法令】バリアフリー法、耐震改修促進法</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>建築士法、都市計画法・住宅関連法令</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>建設業法・消防法・宅地造成等規制法 他</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容	1	【総則】用語の定義・リエンテーション	2	面積・高さ等の算定方法、手続き	3	【一般構造等】一般構造・建築設備	4	【構造強度】構造関係規定の構成・構造方法・構造計算	5	【防火関係】耐火構造等・法22条区域内の建築物	6	耐火建築物・防火地域・準防火地域 等	7	内装制限・避難施設	8	【都市計画区域等の制限】道路・壁面線、用途地域・中間試験	9	容積率・建蔽率・敷地面積等の制限	10	高さの制限、地区・街区等	11	【雑則等】雑則、建築協定・建築審査会・罰則	12	【その他の関係法令】バリアフリー法、耐震改修促進法	13	建築士法、都市計画法・住宅関連法令	14	建設業法・消防法・宅地造成等規制法 他	15	総復習
回数	授業内容																																		
1	【総則】用語の定義・リエンテーション																																		
2	面積・高さ等の算定方法、手続き																																		
3	【一般構造等】一般構造・建築設備																																		
4	【構造強度】構造関係規定の構成・構造方法・構造計算																																		
5	【防火関係】耐火構造等・法22条区域内の建築物																																		
6	耐火建築物・防火地域・準防火地域 等																																		
7	内装制限・避難施設																																		
8	【都市計画区域等の制限】道路・壁面線、用途地域・中間試験																																		
9	容積率・建蔽率・敷地面積等の制限																																		
10	高さの制限、地区・街区等																																		
11	【雑則等】雑則、建築協定・建築審査会・罰則																																		
12	【その他の関係法令】バリアフリー法、耐震改修促進法																																		
13	建築士法、都市計画法・住宅関連法令																																		
14	建設業法・消防法・宅地造成等規制法 他																																		
15	総復習																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。中間・期末試験は全国模擬試験（日建学院）を利用します。																																		
【教 科 書】	学科Ⅱテキスト・問題集（建築資料研究社・日建学院）																																		
【参 考 資 料】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築基準法関係法令集 各年度版（建築資料研究社）</li> <li>・改訂版「初めての建築法規」（学芸出版社）</li> </ul>																																		
【留 意 事 項】	高得点を取るためには、過去問を何度も繰り返し解くことが重要です。解答の解説もしっかりと読んで周辺知識も習得し、新規問題への対策にも繋げていくようにして下さい。例年25問出題され、合格点は13点以上とされています。																																		

【授業科目名】	建築法規Ⅱ(授業形態:講義)																																		
【教科目名】	建築法規	【単位数】	1単位																																
【所属学科名】	建築士専攻科	【コース名】																																	
【学習時期】	前期																																		
【年次】	1年次	【授業時間数】	30H																																
【授業担当者】	野口 成美 [実務経験:建築設計事務所にて建築物の設計]																																		
【学習目標】	建築法規Ⅰで学習した内容を、過去問を繰り返し解くことで確実なものとし、本試験において20点以上の取得を目指す。																																		
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>【総則】用語の定義・リエンション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>面積・高さ等の算定方法、手続き</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>【一般構造等】一般構造・建築設備</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>【構造強度】構造関係規定の構成・構造方法・構造計算</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>【防火関係】耐火構造等・法22条区域内の建築物</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>耐火建築物・防火地域・準防火地域 等</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>内装制限・避難施設</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>【都市計画区域等の制限】道路・壁面線、用途地域 中間試験</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>容積率・建蔽率・敷地面積等の制限</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>高さの制限、地区・街区等</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>【雑則等】雑則、建築協定・建築審査会・罰則</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>【その他の関係法令】バリアフリー法、耐震改修促進法</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>建築士法、都市計画法・住宅関連法令</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>建設業法・消防法・宅地造成等規制法 他</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容	1	【総則】用語の定義・リエンション	2	面積・高さ等の算定方法、手続き	3	【一般構造等】一般構造・建築設備	4	【構造強度】構造関係規定の構成・構造方法・構造計算	5	【防火関係】耐火構造等・法22条区域内の建築物	6	耐火建築物・防火地域・準防火地域 等	7	内装制限・避難施設	8	【都市計画区域等の制限】道路・壁面線、用途地域 中間試験	9	容積率・建蔽率・敷地面積等の制限	10	高さの制限、地区・街区等	11	【雑則等】雑則、建築協定・建築審査会・罰則	12	【その他の関係法令】バリアフリー法、耐震改修促進法	13	建築士法、都市計画法・住宅関連法令	14	建設業法・消防法・宅地造成等規制法 他	15	総復習
回数	授業内容																																		
1	【総則】用語の定義・リエンション																																		
2	面積・高さ等の算定方法、手続き																																		
3	【一般構造等】一般構造・建築設備																																		
4	【構造強度】構造関係規定の構成・構造方法・構造計算																																		
5	【防火関係】耐火構造等・法22条区域内の建築物																																		
6	耐火建築物・防火地域・準防火地域 等																																		
7	内装制限・避難施設																																		
8	【都市計画区域等の制限】道路・壁面線、用途地域 中間試験																																		
9	容積率・建蔽率・敷地面積等の制限																																		
10	高さの制限、地区・街区等																																		
11	【雑則等】雑則、建築協定・建築審査会・罰則																																		
12	【その他の関係法令】バリアフリー法、耐震改修促進法																																		
13	建築士法、都市計画法・住宅関連法令																																		
14	建設業法・消防法・宅地造成等規制法 他																																		
15	総復習																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。中間・期末試験は全国模擬試験(日建学院)を利用します。																																		
【教科書】	学科Ⅱテキスト・問題集(建築資料研究社・日建学院)																																		
【参考資料】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築基準法関係法令集 各年度版(建築資料研究社)</li> <li>・改訂版「初めての建築法規」(学芸出版社)</li> </ul>																																		
【留意事項】	高得点を取るためには、過去問を何度も繰り返し解くことが重要です。解答の解説もしっかりと読んで周辺知識も習得し、新規問題への対策にも繋げていくようにして下さい。例年25問出題され、合格点は13点以上とされています。																																		

【授業科目名】	構造力学 I (授業形態: 講義)																																		
【教科目名】	建築構造	【単位数】	3 単位																																
【所属学科名】	建築士専攻科	【コース名】																																	
【学習時期】	前 期																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	7 5 H																																
【授業担当者】	中野 大希 [実務経験: 建設会社にて建築物の設計]																																		
【学 習 目 標】	建築構造力学について基礎から応用まで幅広く学び、二級建築士学科試験の学科Ⅲ「構造」で合格点取得を目指す。																																		
【授 業 計 画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>構造物と力・変位</td></tr> <tr><td>2</td><td>静定構造物の応力①</td></tr> <tr><td>3</td><td>静定構造物の応力②</td></tr> <tr><td>4</td><td>静定トラスの応力①</td></tr> <tr><td>5</td><td>静定トラスの応力②</td></tr> <tr><td>6</td><td>断面の性質①</td></tr> <tr><td>7</td><td>断面の性質②</td></tr> <tr><td>8</td><td>応力度と許容応力度①・中間試験</td></tr> <tr><td>9</td><td>応力度と許容応力度②</td></tr> <tr><td>10</td><td>変形と不静定構造物①</td></tr> <tr><td>11</td><td>変形と不静定構造物②</td></tr> <tr><td>12</td><td>荷重・外力①</td></tr> <tr><td>13</td><td>荷重・外力②</td></tr> <tr><td>14</td><td>構造設計</td></tr> <tr><td>15</td><td>総復習</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業内容	1	構造物と力・変位	2	静定構造物の応力①	3	静定構造物の応力②	4	静定トラスの応力①	5	静定トラスの応力②	6	断面の性質①	7	断面の性質②	8	応力度と許容応力度①・中間試験	9	応力度と許容応力度②	10	変形と不静定構造物①	11	変形と不静定構造物②	12	荷重・外力①	13	荷重・外力②	14	構造設計	15	総復習
回数	授業内容																																		
1	構造物と力・変位																																		
2	静定構造物の応力①																																		
3	静定構造物の応力②																																		
4	静定トラスの応力①																																		
5	静定トラスの応力②																																		
6	断面の性質①																																		
7	断面の性質②																																		
8	応力度と許容応力度①・中間試験																																		
9	応力度と許容応力度②																																		
10	変形と不静定構造物①																																		
11	変形と不静定構造物②																																		
12	荷重・外力①																																		
13	荷重・外力②																																		
14	構造設計																																		
15	総復習																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。中間・期末試験は全国模擬試験（日建学院）を利用します。																																		
【教科書】	学科Ⅲテキスト・問題集（建築資料研究社・日建学院）																																		
【参考資料】	改訂版 図説 やさしい構造力学（学芸出版社）																																		
【留意事項】	高得点を取るためには、過去問を何度も繰り返し解くことが重要です。解答の解説もしっかりと読んで周辺知識も習得し、新規問題への対策にも繋げていくようにして下さい。例年25問出題され、合格点は13点以上とされています。																																		

【授業科目名】	構造力学Ⅱ(授業形態:講義)																																		
【教科目名】	建築構造	【単位数】	1単位																																
【所属学科名】	建築士専攻科	【コース名】																																	
【学習時期】	前期																																		
【年次】	1年次	【授業時間数】	30H																																
【授業担当者】	中野 大希 [実務経験:建設会社にて建築物の設計]																																		
【学習目標】	構造力学Ⅰで学習した内容を、過去問を繰り返し解くことで確実なものとし、本試験において20点以上の取得を目指す。																																		
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>構造物と力・変位</td></tr> <tr><td>2</td><td>静定構造物の応力①</td></tr> <tr><td>3</td><td>静定構造物の応力②</td></tr> <tr><td>4</td><td>静定トラスの応力①</td></tr> <tr><td>5</td><td>静定トラスの応力②</td></tr> <tr><td>6</td><td>断面の性質①</td></tr> <tr><td>7</td><td>断面の性質②</td></tr> <tr><td>8</td><td>応力度と許容応力度①・中間試験</td></tr> <tr><td>9</td><td>応力度と許容応力度②</td></tr> <tr><td>10</td><td>変形と不静定構造物①</td></tr> <tr><td>11</td><td>変形と不静定構造物②</td></tr> <tr><td>12</td><td>荷重・外力①</td></tr> <tr><td>13</td><td>荷重・外力②</td></tr> <tr><td>14</td><td>構造設計</td></tr> <tr><td>15</td><td>総復習</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業内容	1	構造物と力・変位	2	静定構造物の応力①	3	静定構造物の応力②	4	静定トラスの応力①	5	静定トラスの応力②	6	断面の性質①	7	断面の性質②	8	応力度と許容応力度①・中間試験	9	応力度と許容応力度②	10	変形と不静定構造物①	11	変形と不静定構造物②	12	荷重・外力①	13	荷重・外力②	14	構造設計	15	総復習
回数	授業内容																																		
1	構造物と力・変位																																		
2	静定構造物の応力①																																		
3	静定構造物の応力②																																		
4	静定トラスの応力①																																		
5	静定トラスの応力②																																		
6	断面の性質①																																		
7	断面の性質②																																		
8	応力度と許容応力度①・中間試験																																		
9	応力度と許容応力度②																																		
10	変形と不静定構造物①																																		
11	変形と不静定構造物②																																		
12	荷重・外力①																																		
13	荷重・外力②																																		
14	構造設計																																		
15	総復習																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。中間・期末試験は全国模擬試験(日建学院)を利用します。																																		
【教科書】	学科Ⅲテキスト・問題集(建築資料研究社・日建学院)																																		
【参考資料】	改訂版 図説 やさしい構造力学(学芸出版社)																																		
【留意事項】	高得点を取るためには、過去問を何度も繰り返し解くことが重要です。解答の解説もしっかりと読んで周辺知識も習得し、新規問題への対策にも繋げていくようにして下さい。例年25問出題され、合格点は13点以上とされています。																																		

【授業科目名】	一般構造 I (授業形態: 講義)																																		
【教科目名】	建築構造	【単位数】	3 単位																																
【所属学科名】	建築士専攻科	【コース名】																																	
【学習時期】	前 期																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	7 5H																																
【授業担当者】	中野 大希 [実務経験: 建設会社にて建築物の設計]																																		
【学 習 目 標】	建築一般構造について基礎から応用まで幅広く学び、二級建築士学科試験の学科Ⅲ「構造」で合格点取得を目指す。																																		
【授 業 計 画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>【地盤・基礎構造】地盤及び基礎構造・リエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>【木構造】木材・木質系材料</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>構造設計・木構造（耐力壁）</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>各部構造、接合法</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>木構造融合、枠組み壁工法</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>【鉄筋コンクリート構造】セメント・骨材・コンクリート</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>構造設計</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>各部の設計・中間試験</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>ひび割れ、その他</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>【鋼構造】鋼材・構造設計</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>鉄骨構造・接合</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>【その他の構造】壁式鉄筋コンクリート構造</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>補強コンクリートブロック造</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>【建築材料】ガラス、材料融合その他</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容	1	【地盤・基礎構造】地盤及び基礎構造・リエンテーション	2	【木構造】木材・木質系材料	3	構造設計・木構造（耐力壁）	4	各部構造、接合法	5	木構造融合、枠組み壁工法	6	【鉄筋コンクリート構造】セメント・骨材・コンクリート	7	構造設計	8	各部の設計・中間試験	9	ひび割れ、その他	10	【鋼構造】鋼材・構造設計	11	鉄骨構造・接合	12	【その他の構造】壁式鉄筋コンクリート構造	13	補強コンクリートブロック造	14	【建築材料】ガラス、材料融合その他	15	総復習
回数	授業内容																																		
1	【地盤・基礎構造】地盤及び基礎構造・リエンテーション																																		
2	【木構造】木材・木質系材料																																		
3	構造設計・木構造（耐力壁）																																		
4	各部構造、接合法																																		
5	木構造融合、枠組み壁工法																																		
6	【鉄筋コンクリート構造】セメント・骨材・コンクリート																																		
7	構造設計																																		
8	各部の設計・中間試験																																		
9	ひび割れ、その他																																		
10	【鋼構造】鋼材・構造設計																																		
11	鉄骨構造・接合																																		
12	【その他の構造】壁式鉄筋コンクリート構造																																		
13	補強コンクリートブロック造																																		
14	【建築材料】ガラス、材料融合その他																																		
15	総復習																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。中間・期末試験は全国模擬試験（日建学院）を利用します。																																		
【教 科 書】	学科Ⅲテキスト・問題集（建築資料研究社・日建学院）																																		
【参 考 資 料】	初めての建築一般構造（学芸出版社）																																		
【留 意 事 項】	高得点を取るためには、過去問を何度も繰り返し解くことが重要です。解答の解説もしっかりと読んで周辺知識も習得し、新規問題への対策にも繋げていくようにして下さい。例年25問出題され、合格点は13点以上とされています。																																		

【授業科目名】	一般構造Ⅱ(授業形態:講義)																																		
【教科目名】	建築構造	【単位数】	1単位																																
【所属学科名】	建築士専攻科	【コース名】																																	
【学習時期】	前期																																		
【年次】	1年次	【授業時間数】	30H																																
【授業担当者】	中野 大希 [実務経験:建設会社にて建築物の設計]																																		
【学習目標】	一般構造Ⅰで学習した内容を、過去問を繰り返し解くことで確実なものとし、本試験において20点以上の取得を目指す。																																		
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>【地盤・基礎構造】地盤及び基礎構造・リエンション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>【木構造】木材・木質系材料</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>構造設計・木構造(耐力壁)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>各部構造、接合法</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>木構造融合、枠組み壁工法</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>【鉄筋コンクリート構造】セメント・骨材・コンクリート</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>構造設計</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>各部の設計・中間試験</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>ひび割れ、その他</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>【鋼構造】鋼材・構造設計</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>鉄骨構造・接合</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>【その他の構造】壁式鉄筋コンクリート構造</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>補強コンクリートブロック造</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>【建築材料】ガラス、材料融合その他</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容	1	【地盤・基礎構造】地盤及び基礎構造・リエンション	2	【木構造】木材・木質系材料	3	構造設計・木構造(耐力壁)	4	各部構造、接合法	5	木構造融合、枠組み壁工法	6	【鉄筋コンクリート構造】セメント・骨材・コンクリート	7	構造設計	8	各部の設計・中間試験	9	ひび割れ、その他	10	【鋼構造】鋼材・構造設計	11	鉄骨構造・接合	12	【その他の構造】壁式鉄筋コンクリート構造	13	補強コンクリートブロック造	14	【建築材料】ガラス、材料融合その他	15	総復習
回数	授業内容																																		
1	【地盤・基礎構造】地盤及び基礎構造・リエンション																																		
2	【木構造】木材・木質系材料																																		
3	構造設計・木構造(耐力壁)																																		
4	各部構造、接合法																																		
5	木構造融合、枠組み壁工法																																		
6	【鉄筋コンクリート構造】セメント・骨材・コンクリート																																		
7	構造設計																																		
8	各部の設計・中間試験																																		
9	ひび割れ、その他																																		
10	【鋼構造】鋼材・構造設計																																		
11	鉄骨構造・接合																																		
12	【その他の構造】壁式鉄筋コンクリート構造																																		
13	補強コンクリートブロック造																																		
14	【建築材料】ガラス、材料融合その他																																		
15	総復習																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。中間・期末試験は全国模擬試験(日建学院)を利用します。																																		
【教科書】	学科Ⅲテキスト・問題集(建築資料研究社・日建学院)																																		
【参考資料】	初めての建築一般構造(学芸出版社)																																		
【留意事項】	高得点を取るためには、過去問を何度も繰り返し解くことが重要です。解答の解説もしっかりと読んで周辺知識も習得し、新規問題への対策にも繋げていくようにして下さい。例年25問出題され、合格点は13点以上とされています。																																		

【授業科目名】	建築施工 I (授業形態: 講義)																																		
【教科目名】	建築施工	【単位数】	3 単位																																
【所属学科名】	建築士専攻科	【コース名】																																	
【学習時期】	前期																																		
【年次】	1 年次	【授業時間数】	7 5 H																																
【授業担当者】	大野 克典 [実務経験: 建築設計事務所にて建築物の設計]																																		
【学習目標】	建築施工について基礎から応用まで幅広く学び、二級建築士学科試験の学科IV「施工」で合格点取得を目指す。																																		
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>工事契約・リエンテーション</td></tr> <tr><td>2</td><td>工事監理・施工業務</td></tr> <tr><td>3</td><td>地盤調査・測量</td></tr> <tr><td>4</td><td>仮設工事・土工事・基礎地業工事</td></tr> <tr><td>5</td><td>鉄筋コンクリート工事①</td></tr> <tr><td>6</td><td>鉄筋コンクリート工事②</td></tr> <tr><td>7</td><td>鉄骨工事・コンクリートブロック工事・外壁パネル工事</td></tr> <tr><td>8</td><td>木工事・防水・屋根工事・中間試験</td></tr> <tr><td>9</td><td>左官工事・タイル・張石工事・塗装工事</td></tr> <tr><td>10</td><td>建具・ガラス工事</td></tr> <tr><td>11</td><td>内装・断熱工事・改修工事</td></tr> <tr><td>12</td><td>設備工事</td></tr> <tr><td>13</td><td>用語・機械</td></tr> <tr><td>14</td><td>積算</td></tr> <tr><td>15</td><td>総復習</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業内容	1	工事契約・リエンテーション	2	工事監理・施工業務	3	地盤調査・測量	4	仮設工事・土工事・基礎地業工事	5	鉄筋コンクリート工事①	6	鉄筋コンクリート工事②	7	鉄骨工事・コンクリートブロック工事・外壁パネル工事	8	木工事・防水・屋根工事・中間試験	9	左官工事・タイル・張石工事・塗装工事	10	建具・ガラス工事	11	内装・断熱工事・改修工事	12	設備工事	13	用語・機械	14	積算	15	総復習
回数	授業内容																																		
1	工事契約・リエンテーション																																		
2	工事監理・施工業務																																		
3	地盤調査・測量																																		
4	仮設工事・土工事・基礎地業工事																																		
5	鉄筋コンクリート工事①																																		
6	鉄筋コンクリート工事②																																		
7	鉄骨工事・コンクリートブロック工事・外壁パネル工事																																		
8	木工事・防水・屋根工事・中間試験																																		
9	左官工事・タイル・張石工事・塗装工事																																		
10	建具・ガラス工事																																		
11	内装・断熱工事・改修工事																																		
12	設備工事																																		
13	用語・機械																																		
14	積算																																		
15	総復習																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。中間・期末試験は全国模擬試験（日建学院）を利用します。																																		
【教科書】	学科IVテキスト・問題集（建築資料研究社・日建学院）																																		
【参考資料】	初めての建築施工（学芸出版社）																																		
【留意事項】	高得点を取るためには、過去問を何度も繰り返し解くことが重要です。解答の解説もしっかりと読んで周辺知識も習得し、新規問題への対策にも繋げていくようにして下さい。例年25問出題され、合格点は13点以上とされています。																																		

【授業科目名】	建築施工Ⅱ(授業形態:講義)																																																		
【教科目名】	建築施工	【単位数】	1単位																																																
【所属学科名】	建築士専攻科	【コース名】																																																	
【学習時期】	前期																																																		
【年次】	1年次	【授業時間数】	30H																																																
【授業担当者】	大野 克典 [実務経験:建築設計事務所にて建築物の設計]																																																		
【学習目標】	建築施工Ⅰで学習した内容を、過去問を繰り返し解くことで確実なものとし、本試験において20点以上の取得を目指す。																																																		
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th colspan="2">授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>工事契約</td> <td>オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td colspan="2">工事監理・施工業務</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td colspan="2">地盤調査・測量</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td colspan="2">仮設工事・土工事・基礎地業工事</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート工事①</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td colspan="2">鉄筋コンクリート工事②</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td colspan="2">鉄骨工事・コンクリートブロック工事・外壁パネル工事</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td colspan="2">木工事・防水・屋根工事・中間試験</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td colspan="2">左官工事・タイル・張石工事・塗装工事</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td colspan="2">建具・ガラス工事</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td colspan="2">内装・断熱工事・改修工事</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td colspan="2">設備工事</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td colspan="2">用語・機械</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td colspan="2">積算</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td colspan="2">総復習</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容		1	工事契約	オリエンテーション	2	工事監理・施工業務		3	地盤調査・測量		4	仮設工事・土工事・基礎地業工事		5	鉄筋コンクリート工事①		6	鉄筋コンクリート工事②		7	鉄骨工事・コンクリートブロック工事・外壁パネル工事		8	木工事・防水・屋根工事・中間試験		9	左官工事・タイル・張石工事・塗装工事		10	建具・ガラス工事		11	内装・断熱工事・改修工事		12	設備工事		13	用語・機械		14	積算		15	総復習	
回数	授業内容																																																		
1	工事契約	オリエンテーション																																																	
2	工事監理・施工業務																																																		
3	地盤調査・測量																																																		
4	仮設工事・土工事・基礎地業工事																																																		
5	鉄筋コンクリート工事①																																																		
6	鉄筋コンクリート工事②																																																		
7	鉄骨工事・コンクリートブロック工事・外壁パネル工事																																																		
8	木工事・防水・屋根工事・中間試験																																																		
9	左官工事・タイル・張石工事・塗装工事																																																		
10	建具・ガラス工事																																																		
11	内装・断熱工事・改修工事																																																		
12	設備工事																																																		
13	用語・機械																																																		
14	積算																																																		
15	総復習																																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士																																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。中間・期末試験は全国模擬試験(日建学院)を利用します。																																																		
【教科書】	学科Ⅳテキスト・問題集(建築資料研究社・日建学院)																																																		
【参考資料】	初めての建築施工(学芸出版社)																																																		
【留意事項】	高得点を取るためには、過去問を何度も繰り返し解くことが重要です。解答の解説もしっかりと読んで周辺知識も習得し、新規問題への対策にも繋げていくようにして下さい。例年25問出題され、合格点は13点以上とされています。																																																		

【授業科目名】	建築設計製図(授業形態:演習)																																		
【教科目名】	建築設計製図	【単位数】	7単位																																
【所属学科名】	建築士専攻科	【コース名】																																	
【学習時期】	前期																																		
【年次】	1年次	【授業時間数】	115H																																
【授業担当者】	中野 大希 [実務経験:建設会社にて建築物の設計]																																		
【学習目標】	建築設計図面制作における、諸条件の読解、エスキス、作図などについて基礎から応用まで幅広く学び、二級建築士製図試験で合格点取得を目指す。																																		
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>製図試験概要説明・対策について・オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>製図試験過去問トレース1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>製図試験過去問トレース2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>製図試験過去問トレース3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>エスキスの手法と解説</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>自主設計1</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>自主設計2</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>自主設計3・中間試験</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>自主設計4</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>自主設計5</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>自主設計6</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>自主設計7</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>自主設計8</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>自主設計9</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>自主設計10</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業内容	1	製図試験概要説明・対策について・オリエンテーション	2	製図試験過去問トレース1	3	製図試験過去問トレース2	4	製図試験過去問トレース3	5	エスキスの手法と解説	6	自主設計1	7	自主設計2	8	自主設計3・中間試験	9	自主設計4	10	自主設計5	11	自主設計6	12	自主設計7	13	自主設計8	14	自主設計9	15	自主設計10
回数	授業内容																																		
1	製図試験概要説明・対策について・オリエンテーション																																		
2	製図試験過去問トレース1																																		
3	製図試験過去問トレース2																																		
4	製図試験過去問トレース3																																		
5	エスキスの手法と解説																																		
6	自主設計1																																		
7	自主設計2																																		
8	自主設計3・中間試験																																		
9	自主設計4																																		
10	自主設計5																																		
11	自主設計6																																		
12	自主設計7																																		
13	自主設計8																																		
14	自主設計9																																		
15	自主設計10																																		
【資格との関連】	一級・二級建築士																																		
【成績評価方法】	平常点、課題点、期末点を総合して評価します。中間・期末試験は模擬試験(日建学院)を利用します。																																		
【教科書】	製図テキスト(建築資料研究社・日建学院)																																		
【参考資料】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい建築の製図(学芸出版社)</li> <li>・新装版 初めての建築製図(学芸出版社)</li> <li>・必携建築資料</li> </ul>																																		
【留意事項】	製図試験に合格するためには、諸条件をしっかりと把握し、ミスなく図面に表現すること、そして5時間以内にすべて書ききることが必須となります。製図はすぐには力がつきません。早い段階から意識して繰り返し問題を解くことが重要です。また、必ず毎回自分の図面の検証を行うように。																																		

# TIST

Tsukuba Institute of Science & Technology

令和8年度 1学年 後期シラバス

建築士専攻科

筑波研究学園専門学校

## 学科別教科目（1 学年 後期）

### ◆建築士専攻科

	教 科 名	授業科目名
1	総合研究	建築研究Ⅰ
2	総合研究	建築研究Ⅱ
3	総合研究	建築研究Ⅲ
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

【授業科目名】	建築研究 I (授業形態: 実習)																																		
【教科目名】	総合研究	【単位数】	3 単位																																
【学科名】	建築士専攻科	【コース】																																	
【学習時期】	後 期																																		
【年 次】	1 年次	【授業時間数】	9 0H																																
【授業担当者】	中野 大希 [実務経験：建設会社にて建築物の設計・監理]																																		
【学 習 目 標】	学生自身の進路に合わせて研究テーマを決め、深く追求する。自ら主体的に学ぶことでより早い段階で即戦力となれることを目標に実践的な学修をする。																																		
【授 業 計 画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>オリエンテーション</td></tr> <tr><td>2</td><td>研究項目の調査・研究テーマの決定</td></tr> <tr><td>3</td><td>研究計画の作成</td></tr> <tr><td>4</td><td>実践研究演習①</td></tr> <tr><td>5</td><td>実践研究演習②</td></tr> <tr><td>6</td><td>実践研究演習③</td></tr> <tr><td>7</td><td>実践研究演習④</td></tr> <tr><td>8</td><td>実践研究演習⑤</td></tr> <tr><td>9</td><td>中間報告</td></tr> <tr><td>10</td><td>実践研究演習⑥</td></tr> <tr><td>11</td><td>実践研究演習⑦</td></tr> <tr><td>12</td><td>実践研究演習⑧</td></tr> <tr><td>13</td><td>実践研究演習⑨</td></tr> <tr><td>14</td><td>実践研究演習⑩</td></tr> <tr><td>15</td><td>実践研究のまとめ</td></tr> </tbody> </table> <p>※BYOD授業対象とし、すべての授業において各自のデバイスを活用しながら各項目の調査、研究、図面作成等を行う。</p>			回数	授業内容	1	オリエンテーション	2	研究項目の調査・研究テーマの決定	3	研究計画の作成	4	実践研究演習①	5	実践研究演習②	6	実践研究演習③	7	実践研究演習④	8	実践研究演習⑤	9	中間報告	10	実践研究演習⑥	11	実践研究演習⑦	12	実践研究演習⑧	13	実践研究演習⑨	14	実践研究演習⑩	15	実践研究のまとめ
回数	授業内容																																		
1	オリエンテーション																																		
2	研究項目の調査・研究テーマの決定																																		
3	研究計画の作成																																		
4	実践研究演習①																																		
5	実践研究演習②																																		
6	実践研究演習③																																		
7	実践研究演習④																																		
8	実践研究演習⑤																																		
9	中間報告																																		
10	実践研究演習⑥																																		
11	実践研究演習⑦																																		
12	実践研究演習⑧																																		
13	実践研究演習⑨																																		
14	実践研究演習⑩																																		
15	実践研究のまとめ																																		
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一級, 二級建築士学科試験</li> <li>・ 1 級, 2 級建築, 土木, 管工事, 造園施工管理技士試験</li> <li>・ 測量士補</li> <li>・ インテリアコーディネーター</li> <li>・ 宅地建物取引士</li> </ul>																																		
【成績評価方法】	形になるものはその成果物、実習系は実習日誌の他、研究姿勢、出席点などを総合判断して評価する。																																		
【教 科 書】	指定教科書無し (研究テーマに応じて各自が選択して使用する)																																		
【留 意 事 項】	成果物や日誌は必ず提出すること。未提出の場合は判定ができず単位認定が出来ません。																																		

【授業科目名】	建築研究Ⅱ(授業形態:実習)																																		
【教科目名】	総合研究	【単位数】	3単位																																
【学科名】	建築士専攻科	【コース】																																	
【学習時期】	後 期																																		
【年 次】	1年次	【授業時間数】	90H																																
【授業担当者】	中野 大希 [実務経験：建設会社にて建築物の設計・監理]																																		
【学 習 目 標】	学生自身の進路に合わせて研究テーマを決め、自ら主体的に学ぶことでより早い段階で即戦力となることを目標に実践的な学修をする。(研究テーマは建築研究Ⅰの延長と位置付けても良い)																																		
【授 業 計 画】	<table border="1" data-bbox="491 790 1445 1395"> <thead> <tr> <th data-bbox="491 790 608 824">回数</th> <th data-bbox="608 790 1445 824">授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td data-bbox="491 824 608 857">1</td><td data-bbox="608 824 1445 857">オリエンテーション</td></tr> <tr><td data-bbox="491 857 608 891">2</td><td data-bbox="608 857 1445 891">研究項目の調査・研究テーマの決定</td></tr> <tr><td data-bbox="491 891 608 925">3</td><td data-bbox="608 891 1445 925">研究計画の作成</td></tr> <tr><td data-bbox="491 925 608 958">4</td><td data-bbox="608 925 1445 958">実践研究演習①</td></tr> <tr><td data-bbox="491 958 608 992">5</td><td data-bbox="608 958 1445 992">実践研究演習②</td></tr> <tr><td data-bbox="491 992 608 1025">6</td><td data-bbox="608 992 1445 1025">実践研究演習③</td></tr> <tr><td data-bbox="491 1025 608 1059">7</td><td data-bbox="608 1025 1445 1059">実践研究演習④</td></tr> <tr><td data-bbox="491 1059 608 1093">8</td><td data-bbox="608 1059 1445 1093">実践研究演習⑤</td></tr> <tr><td data-bbox="491 1093 608 1126">9</td><td data-bbox="608 1093 1445 1126">中間報告</td></tr> <tr><td data-bbox="491 1126 608 1160">10</td><td data-bbox="608 1126 1445 1160">実践研究演習⑥</td></tr> <tr><td data-bbox="491 1160 608 1193">11</td><td data-bbox="608 1160 1445 1193">実践研究演習⑦</td></tr> <tr><td data-bbox="491 1193 608 1227">12</td><td data-bbox="608 1193 1445 1227">実践研究演習⑧</td></tr> <tr><td data-bbox="491 1227 608 1261">13</td><td data-bbox="608 1227 1445 1261">実践研究演習⑨</td></tr> <tr><td data-bbox="491 1261 608 1294">14</td><td data-bbox="608 1261 1445 1294">実践研究演習⑩</td></tr> <tr><td data-bbox="491 1294 608 1328">15</td><td data-bbox="608 1294 1445 1328">実践研究のまとめ</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="512 1395 1430 1469">※BYOD授業対象とし、すべての授業において各自のデバイスを活用しながら各項目の調査、研究、図面作成等を行う。</p>			回数	授業内容	1	オリエンテーション	2	研究項目の調査・研究テーマの決定	3	研究計画の作成	4	実践研究演習①	5	実践研究演習②	6	実践研究演習③	7	実践研究演習④	8	実践研究演習⑤	9	中間報告	10	実践研究演習⑥	11	実践研究演習⑦	12	実践研究演習⑧	13	実践研究演習⑨	14	実践研究演習⑩	15	実践研究のまとめ
回数	授業内容																																		
1	オリエンテーション																																		
2	研究項目の調査・研究テーマの決定																																		
3	研究計画の作成																																		
4	実践研究演習①																																		
5	実践研究演習②																																		
6	実践研究演習③																																		
7	実践研究演習④																																		
8	実践研究演習⑤																																		
9	中間報告																																		
10	実践研究演習⑥																																		
11	実践研究演習⑦																																		
12	実践研究演習⑧																																		
13	実践研究演習⑨																																		
14	実践研究演習⑩																																		
15	実践研究のまとめ																																		
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一級, 二級建築士学科試験</li> <li>・ 1級, 2級建築, 土木, 管工事, 造園施工管理技士試験</li> <li>・ 測量士補</li> <li>・ インテリアコーディネーター</li> <li>・ 宅地建物取引士</li> </ul>																																		
【成績評価方法】	形になるものはその成果物、実習系は実習日誌の他、研究姿勢、出席点などを総合判断して評価する。																																		
【教 科 書】	指定教科書無し (研究テーマに応じて各自が選択して使用する)																																		
【留 意 事 項】	成果物や日誌は必ず提出すること。未提出の場合は判定ができず単位認定が出来ません。																																		

【授業科目名】	建築研究Ⅲ(授業形態:演習)																																		
【教科目名】	総合研究	【単位数】	1単位																																
【学科名】	建築士専攻科	【コース】																																	
【学習時期】	後期																																		
【年次】	1年次	【授業時間数】	30H																																
【授業担当者】	中野 大希 [実務経験:建設会社にて建築物の設計・監理]																																		
【学習目標】	建築研究Ⅰ・建築研究Ⅱで学修したことを専門的な考察で検証・分析し、実践的な知識として習得する。																																		
【授業計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>オリエンテーション</td></tr> <tr><td>2</td><td>学問的な学修と実践的な学修の違い</td></tr> <tr><td>3</td><td>実践的な学修の検証と分析手法</td></tr> <tr><td>4</td><td>実践教育演習①の考察</td></tr> <tr><td>5</td><td>実践教育演習②の考察</td></tr> <tr><td>6</td><td>実践研究演習③の考察</td></tr> <tr><td>7</td><td>実践研究演習④の考察</td></tr> <tr><td>8</td><td>実践研究演習⑤の考察</td></tr> <tr><td>9</td><td>中間報告</td></tr> <tr><td>10</td><td>実践研究演習⑥の考察</td></tr> <tr><td>11</td><td>実践研究演習⑦の考察</td></tr> <tr><td>12</td><td>実践研究演習⑧の考察</td></tr> <tr><td>13</td><td>実践研究演習⑨の考察</td></tr> <tr><td>14</td><td>実践研究演習⑩の考察</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ</td></tr> </tbody> </table> <p>※BYOD授業対象とし、すべての授業において各自のデバイスを活用しながら各項目の調査、研究、図面作成等を行う。</p>			回数	授業内容	1	オリエンテーション	2	学問的な学修と実践的な学修の違い	3	実践的な学修の検証と分析手法	4	実践教育演習①の考察	5	実践教育演習②の考察	6	実践研究演習③の考察	7	実践研究演習④の考察	8	実践研究演習⑤の考察	9	中間報告	10	実践研究演習⑥の考察	11	実践研究演習⑦の考察	12	実践研究演習⑧の考察	13	実践研究演習⑨の考察	14	実践研究演習⑩の考察	15	まとめ
回数	授業内容																																		
1	オリエンテーション																																		
2	学問的な学修と実践的な学修の違い																																		
3	実践的な学修の検証と分析手法																																		
4	実践教育演習①の考察																																		
5	実践教育演習②の考察																																		
6	実践研究演習③の考察																																		
7	実践研究演習④の考察																																		
8	実践研究演習⑤の考察																																		
9	中間報告																																		
10	実践研究演習⑥の考察																																		
11	実践研究演習⑦の考察																																		
12	実践研究演習⑧の考察																																		
13	実践研究演習⑨の考察																																		
14	実践研究演習⑩の考察																																		
15	まとめ																																		
【資格との関連】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一級, 二級建築士学科試験</li> <li>・ 1級, 2級建築, 土木, 管工事, 造園施工管理技士試験</li> <li>・ 測量士補</li> <li>・ インテリアコーディネーター</li> <li>・ 宅地建物取引士</li> </ul>																																		
【成績評価方法】	各回ごとに研究成果をまとめた考察報告書、研究姿勢、出席点などを総合判断して評価する。																																		
【教科書】	指定教科書無し (研究テーマに応じて各自が選択して使用する)																																		
【留意事項】	考察報告書は必ず提出すること。未提出の場合は判定ができず単位認定が出来ません。																																		